

浄土宗 日常勤行式

一、香 偈

願が我ん身が淨しん如じょう香に爐よ

願が我ん心が如しん智に慧よ火ち

念ねん念ねん焚ぼん燒じょう戒かい定じょう香こう

供く養よう十じゅう方ほう三さん世せ仏ぶつ

二、三宝礼

一いっ心しん敬きやう礼らい十じゅう方ほう法ぽう界かい常じょう住じゅう住ぶ仏ぶつ

一いっ心しん敬きやう礼らい十じゅう方ほう法ぽう界かい常じょう住じゅう住ぶ法ぽう

一いっ心しん敬きやう礼らい十じゅう方ほう法ぽう界かい常じょう住じゅう住ぶ僧そう

三、四奉請

奉ほう請せい十じゅう方ほう如に來らい入に道どう場じょう散さん華か樂らく

奉ほう請せい釈せき迦か如に來らい入に道どう場じょう散さん華か樂らく

奉ほう請せい彌み陀た如に來らい入に道どう場じょう散さん華か樂らく

(3)

(2)

(1)

奉請觀音勢至諸大菩薩入道場散華樂

四、懺悔偈

我昔所造諸惡業

皆由無始貪瞋痴

從身語意之所生

一切我今皆懺悔

五、十念

六、開經偈

無上甚深微妙法

百千萬劫難遭遇

我今見聞得受持

願解如來真實義

七、四誓偈

我建超世願

必至無上道

斯願不滿足

誓不成正覺

我於無量劫

不為大施主

普濟諸貧苦

誓不成正覺

我至成仙道

名聲超十方

究竟摩所聞

誓不成正覺

離欲深正念

淨慧修梵行

志求無上道

為諸天人師

神力演大光

普照無際土

消除三垢冥

廣濟衆厄難

開彼智慧眼

滅此昏盲闇

閉塞諸惡道

通達善趣門

功祚成滿足

威曜朗十方

日月戢重暉

天光穩不現

為衆開法藏

廣施功德寶

常於大衆中

說法師子吼

供養一切仏

具足衆徳本

願慧悉成滿

得為三界雄

如仏無礙智

通達靡不照

願我功慧力

等此最勝尊

斯願若剋果

大千應感動

虚空諸天人

當雨珍妙華

八、本誓偈

弥陀本誓願

極樂之要門

定散等回向

速証無生身

(10)

九、十念

十、元祖法然上人御遺訓

一枚起請文

唐土我朝に、もろもろの智者達の、沙汰し申さるる観

(11)

念の念にもあらず。また学問をして、念のこころを悟

南無阿弥陀仏と申して、うたがひなく往生するぞと思
い取りて申す外には別の仔細候わず。ただし三心四修
て申すこの候は、皆決定して南無阿弥陀仏にて往
生するぞと思つうちにも候うなり。この外に興る
かき事を存ぜば、二尊のあわれみにはずれ、本願にも

(12)

れ候^{ぞう}づべし。念^{ねん}仏^{ぶつ}を信^{しん}ぜん人は、たてい^{いただ}い^{たい}の法^{ほう}をみ
くみく^{がく}学^{がく}すこも、一^い文^{もん}不^ふ知^ちの愚^ぐ鈍^{どん}の身^みになして、尼^{あま}入^{にゅう}
道^{どう}の無^む智^ちの^むせ^ちな^らに^は回^まひ^うり^こして、智^ち者^{しや}の^みる^まい^を
せ^ずしてた^だ一^い切^{けつ}に念^{ねん}仏^{ぶつ}すべし。
証^{しやう}のため^に画^え手^て印^{いん}を^もつ^てす。

(13)

浄^{じやう}土^ど宗^{しゆ}の安^{あん}心^{じん}起^き行^{ぎやう}の^いっ^し
紙^しに^しく^く至^し極^{ごく}せり。源^{げん}空^{くう}が^しよ^{ぞん}
所^ほか^かま^つた^たべ^つき^きぞ^ん
この外^{ほか}に^まつ^たべ^つき^きぞ^ん
た^めに^しよ^{ぞん}
所^しよ^{ぞん}
存^{ぞん}
を^おわ^わ
し^る
し^る
畢^おわ^わ
ん^ぬ
ぬ。

(14)

建^{けん}曆^{りやく}二^に年^{ねん}正^{しやう}月^{げつ}二^に十^{じゆ}三^{さん}日^{にち}

大^{だい}師^し在^{ざい}御^ご判^{はん}

十^{じゆ}一^{いつ}、撰^{せん}益^ぎ文^{ぶん}

光^{こう}明^{めい}遍^{へん}照^{しやう}

十^{じゆ}方^{ほう}世^せ界^{かい}

念^{ねん}仏^{ぶつ}衆^{しゆ}生^{じやう}

撰^{せん}取^と不^ふ捨^{しや}

(15)

十^{じゆ}二^に、念^{ねん}仏^{ぶつ}一^{いつ}会^え

十三、総回向偈

願がん以此に功德どく

平等びやうどう施せ一切いっさい

同どう発ほつ菩提ぼだい心しん

往生おうじやう安樂あんらく国こく

十四、十念

十五、総願偈

衆しゆじやう生む無へん邊せい誓がん願ど度

煩ぼんのう惱む無へん邊せい誓がん願だん斷

法ほう門もん無む盡じん誓せい願がん知ち

無む上じやう菩ぼ提だい誓せい願がん証しやう

自じ他た法ほう界かい同どう利り益やく

共ぐ生しやう極ごく樂らく成じやう仏ぶつ道どう

十六、三唱礼

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつ

十七、送そう仙せん偈げ

請しん仙せん隨ずい緣えん還げん本ほん国こく

普ふ散さん香こう華け心しん送そう仙せん

願がん仙せん慈じ心しん遥よう護ご念ねん

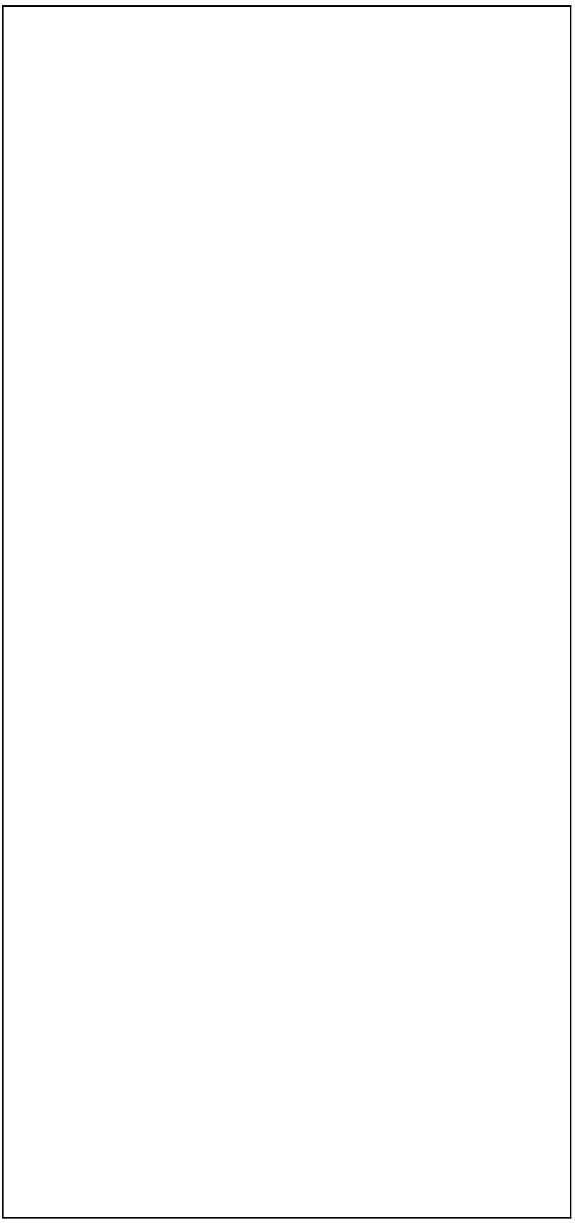
同どう生しょう相そう勸かん尽じん須しゆ來らい

十八、十じゅう念ねん

編集 浄土宗和歌山教区教化団

令和元年十二月 第二版

←おもて表紙の裏に貼る



【表紙ラベル】

お好みのものをご使用下さい

浄土宗日常勤行式

浄土宗日常勤行式